

数量総括表

工 種	規 格・形 状・寸 法	単位	数 量	設計数量	備 考
護岸・岸壁・物揚場					
付属工					
防舷材工					
防舷材設置		基			
	H200×L2000		16.0	16.0	
支保		m			
			16.0	16.0	
足場		m2			
			32.0	32.0	
維持補修工					
防食工					
電気防食		個			
	2.0A×20年型		22.0	22	
電位測定装置取付		個			
			1.0	1	
ペトロラタム被覆	足場設置撤去	m			
			60.0	60.0	
ペトロラタム被覆	下地処理(かき落とし)	m2			
			161.8	162.0	
ペトロラタム被覆	鋼矢板 FSP-Ⅱ型、L=1.8m	m2			
			132.8	133.0	
ペトロラタム被覆	鋼矢板 FSP-Ⅱ型 L=1.3m	m2			
			5.6	6.0	
ペトロラタム被覆	鋼矢板 FSP-Ⅱ型+YSP-Ⅱ型 L=1.8m	m2			
			1.0	1.0	
ペトロラタム被覆	鋼矢板YSP-Ⅱ型 L=1.8m	m2			
			22.4	22.0	
現場発生品運搬・処分	かき殻	式			
			1.0	1.0	
鋼板当て板補修	曲鋼板 456×1000、t=6mm	枚			
			1.0	1.0	
鋼板当て板補修	曲鋼板 456×1250、t=6mm	枚			
			7.0	7.0	
鋼板当て板補修	曲鋼板 456×1750、t=6mm	枚			
			1.0	1.0	
鋼板当て板補修	平鋼板 270×1100、t=6mm	枚			
			1.0	1.0	
鋼板当て板補修	平鋼板 270×900、t=6mm	枚			
			1.0	1.0	
鋼板当て板補修	曲鋼板 460×2350、t=9mm	枚			
			1.0	1.0	
構造物撤去工					
撤去工					
防舷材撤去		基			
			12.0	12.0	
現場発生品運搬・処分	防舷材	式			
			1.0	1.0	

数量総括表

工 種	規 格・形 状・寸 法	単位	数 量	設計数量	備 考
共通仮設					
共通仮設費					
安全費					
安全対策	交通誘導警備員B	人			
	36 人		36.0	36.0	
技術管理費					
技術管理		式			
	肉厚測定		1.0	1	

被覆防食工数量集計表

[illegible]

被覆防食工計算書									
項 目		計 算 式					数 量	単位	
鋼板補修工			鋼板形状	枚数	単位重量 (kg/m2)	箇所当り	重量	溶接長/枚	備考
			曲 456×1000	1	47.10	21.48	21.5	2.912	板厚 6mm
			曲 456×1250	7	47.10	26.85	187.9	3.412	板厚 6mm
			曲 456×1750	1	47.10	37.59	37.6	4.412	板厚 6mm
			平 270×1100	1	47.10	13.99	14.0	2.740	板厚 6mm
			平 270×900	1	47.10	11.45	11.4	2.340	板厚 6mm
			曲 460×2350	1	70.65	76.37	76.4	5.620	板厚 9mm
			計	12			348.8		
被覆防食工	1, 鋼矢板 FSP-Ⅱ型								
	① 矢板周辺係数 1.55 L= 46.4 m + 1.2 m = 47.6 m								
	防食高さ AP +0.80 - AP -1.00 = 1.80 m								
	② 矢板周辺係数 1.55 L= 2.8 m								
	防食高さ AP +0.3 - AP -1.00 = 1.30 m								
	2, 鋼矢板 FSP-Ⅱ型+YSP-Ⅱ型 ※FSP-Ⅱ型とYSP-Ⅱ型を各0.2mで溶接した鋼矢板 (FSP-Ⅱ型)								
	③-1矢板周辺係数 1.55 L= 0.2 m								
	防食高さ AP +0.80 - AP -1.00 = 1.80 m								
	(YSP-Ⅱ型)								
	③-2矢板周辺係数 1.35 L= 0.2 m								
防食高さ AP +0.80 - AP -1.00 = 1.80 m									
(1)防食対象面積	3, 鋼矢板YSP-Ⅱ型								
	④ 矢板周辺係数 1.35 L= 9.2 m								
	防食高さ AP +0.80 - AP -1.00 = 1.80 m								
	延長 周辺係数 防食高さ 防食面積								
	A①= 47.600 × 1.55 × 1.80 = 132.804								
	A②= 2.800 × 1.55 × 1.30 = 5.642								
	A③-1= 0.200 × 1.55 × 1.80 = 0.558 A③-1+A③-2= 1.044								
	A③-2= 0.200 × 1.35 × 1.80 = 0.486 m2								
	A④= 9.200 × 1.35 × 1.80 = 22.356								
	= 161.846								
(2)足場設置・撤去	(1)防食対象面積 延長より L= 60.000								
(3)下地処理工 (かき落とし)	(1)防食対象面積より A= 161.846								
※電気防食工 の下地処理 (かき落とし)	A2= 2.046 m2								
	A1 + A2 161.846 + 2.046 = 163.892								
	かき落としより A= 163.892 m2								
	V= 163.892 × 0.03 (かき殻厚0.03m 過年度実績)								
	※単位体積重量:0.29t/m3 過年度実績 Wt= 4.917 × 0.29 = 1.42593								
	≒ 1.43 t								

被覆防食工計算書			
項 目	計 算 式	数 量	単位
(4)被覆防食工	(1)防食対象面積より A= 161.846	161.846	m2
(5)端部処理工	端部処理（上下） 延長 周辺係数 処理箇所 端部処理延長 L①= 47.600 × 1.55 × 2 = 147.560 L②= 2.800 × 1.55 × 2 = 8.680 L③-1= 0.200 × 1.55 × 2 = 0.620 L③-1+L③-2= 1.160 L③-2= 0.200 × 1.35 × 2 = 0.540 m2 L④= 9.200 × 1.35 × 2 = 24.840 = 182.240	182	m
(6)技術管理費 (肉厚測定)	補修鋼板位置図より 矢板番号123 測定実施済み、施工前に再確認 測定箇所 1 箇所 1開孔に当り5点 測定N= 1 × 5点 = 5 矢板番号7・11・21・29・47・71・79・81・87・105・113 測定箇所 11 箇所 1開孔に当り10点 測定N= 11 × 10点 = 110 計 = 115	115	点

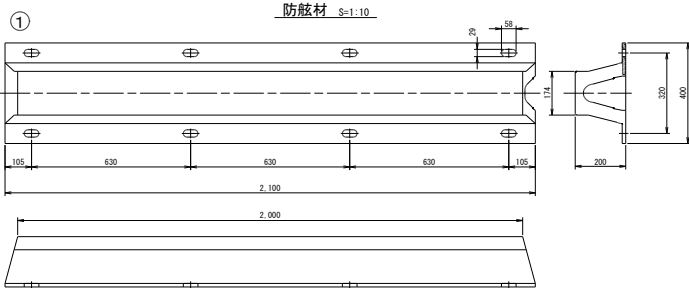
電氣防食工数量集計表

[illegible]

電気防食工計算書							
項 目	計 算 式				数 量	単位	
電気防食	使用材料						
	材 料 名	仕 様	材料数量				備 考
	アルミニウム合板陽極	2.0A × 20年型	22	箇所			鋼矢板
	電位測定装置		1	箇所			
下地処理 (かき落とし)	A1= 0.150 × 0.310 × 2 × 22 = 2.046				2.0	m2	

付属工数量集計表

[illegible]

付属工計算書			
項 目	計 算 式	数 量	単位
付属工 防舷材撤去・新設	H=200×L=2000  N= 16	16.0	基
支保	防舷材1箇所 幅1mとする。 L= 1.000 × 16 基	16.0	m
足場	防舷材1箇所あたりの、足場面積をL1m×H2m=2m2 L= 2.000 m2 × 16 基	32.0	m2
防舷材運搬処分	防舷材(H200×L2000) 質量 100kg N= 16 - 4 (脱落) = 12 W= 12.00 × 100.00 / 1000 = 1.200	12.0 1.2	基 t